

多職種連携研修作業部会関係資料

【令和5年度 多職種連携研修実績および予定表】

目的(テーマ)	内容	形式			定員	時期
		規模(会場)	形態	対象者		
(1) 相互理解の促進	① オープンカンファレンス	中規模	対話体験(事例報告)	医療・介護関係者	100名程度	11月29日(木)(予定)
	② 研修会等コーディネート 各関係団体窓口一覧の内容変更の有無を確認	-	-	-	-	9月7日更新済み
(2) 連携強化	① 看取り (ア) 人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業 本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会 在宅医療・施設ケア従事者版 E-Field Home 函館開催 ～生活の場・暮らしの場におけるガイドラインの活用およびAQP～ (イ) はこだて関係団体共催研修会 AQPにまつわる内容にて開催。病院の移行期からの在宅・施設場での 意思決定支援について。	中規模 (市民会館展示室)	混合型 (座学・GW・個人ワーク)	医療・介護関係者	80名程度	6月10日(土)(終了)
	② 看取り&連携強化 ・第8回函館市医療・介護連携多職種研修会 『点から線につなごろう ～本人の想いを聞いてますか? 連携による地域の変化と今後の課題～』	大規模 (テシアター)	対話体験型 (シンポジウム)	医療・介護関係者	200名程度	6月11日(日)(終了)
	③ 入退院支援 (ア) 「入退院支援連携強化研修会(ガイド編)」(退院支援分科会主催) (イ) 「入退院支援連携強化研修会(サマリー編)」(情報共有ツール作業部会主催) (案) 令和5年度 函館市医療・介護連携ID-Link活用推進研修会 ※各団体・機関との共催、退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模 (医師会病院)	対話体験型 (GW)	医療・介護関係者	40名程度	11月17日(金)(予定)
(3) 多職種連携の 専門性の向上	④ 急変時対応(急変時対応分科会委務者会主催) 「令和5年急変時対応研修会」	中規模 (市民会館大会議室)	対話体験型 (シンポジウム)	医療・介護関係者	100名程度	12月2日(土)(予定)
	(ア) 在宅歯科医療連携室との意見交換会	中規模	対話体験型 (シンポジウム・GW)	医療・介護関係者	100名程度	R6年2月(予定)
(4) 人材育成	(イ) 函館市医師会病院地域医療支援病院講演会	小規模 (歯科医師会館)	対話体験型	医療・介護関係者	30名程度	6月29日(木)(終了)
	センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	小規模 (医師会病院)	講師：センター職員 見学・座学講義	医療・介護関係者 医療・介護学生 (教員)	50名程度 数名	9月21日(木)(終了) 随時

※ 新型コロナウイルスの状況等により、研修会の中止および開催時期、方法等が変更となる場合があります。

人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業
本人の意向を尊重した意思決定のための相談員研修会
在宅医療・施設ケア従事者版
E-Field Home 函館開催

～生活の場・暮らしの場におけるガイドラインの活用およびACP～

◆◆在宅医療・ケア従事者向け研修について◆◆

◆E-Field HOME 研修 責任者 木澤義之

◆タスクフォースメンバー/研修講師（敬称略・五十音順）



宇都宮 宏子
 (宇都宮宏子オフィス)



加藤忠相
 (あおいけあ)



川口 篤也
 (道南勤医協函館稜北病院)



佐々木 淳
 (医療法人社団 悠翔会)



古屋 聡
 (山梨市立牧丘病院)



◎ 山岸 暁美
 (慶應義塾大学医学部
 コミュニティヘルス研究機構)

◆ファシリテーター◆

山崎 裕 (市立函館病院)

廣瀬 量平 (国立函館病院)

中安 千佳子 (函館五稜郭病院)

本間 雅文 (市立函館恵山病院)

金丸 奈那美 (函館中央病院)

小林 由紀子 (訪問看護 ST オハナ)

佐藤 絵美 (市立函館病院)

塚本 美穂 (高橋病院)

近藤 純香 (函館市医療・介護連携支援センター)

佐藤 静 (函館市医療・介護連携支援センター)

参考) 事業の目的

本人の意思を尊重した人生の最終段階における医療・ケアを実現するため、医療機関や在宅医療の場等において、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」(平成30年3月改訂厚生労働省)(以下、「ガイドライン」という。)に則って、人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定等の際に本人や家族等の相談に乗り、必要に応じて関係者の調整を行う相談員を含む医療・ケアチームの育成をすること、また、医療福祉従事者にガイドラインおよび人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)への理解を深めてもらうことで、人生の最終段階における医療・ケアについて本人の意思が尊重される環境整備に資することを目的とする。

参加資格：

1. 函館市・北斗市・七飯町で人生の最終段階における医療・ケアに関する意思決定に携わっている医療福祉従事者（医師・看護師・MSW・ケアマネジャー・施設ケアスタッフ等）
2. 上記の医療福祉従事者は、原則として、研修会受講時点において、人生の最終段階における医療・ケアに携わる者としての経験が3年以上であることが望ましく、研修修了後も引き続き、当該医療・ケアに携わる予定である者であること
3. 研修修了後、本事業に協力し、各医療機関等において「人生の最終段階における本人の意向を尊重した意思決定支援」を実践すること
4. 本事業にかかる調査や研究等に協力すること
5. 本研修会を修了したことについて、厚生労働省および都道府県に対して、氏名、所属および連絡先と併せて報告することに同意すること

◆◆E-Field HOME の研修スタイル◆◆

・ 講義＋グループワーク

【○研修の構成】

◆ イントロダクション

当該研修の趣旨

◆ ガイドライン総論

人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインについて

◆ Step 1

本人の意思決定する力を考える

◆ Step 2

本人の意思の確認ができる場合の進め方→Advance Care Planning

◆ Step 3

本人の意思が確認できない場合 本人の推定意思を尊重し、本人にとって最善の方針を取る

◆ Step 4

本人の意思が確認できない場合 本人にとっての最善の方針を医療・ケアチームで慎重に判断

◆ まとめ

相談員として期待されること

はこだて関係団体共催研修会

6/10のE-FIELD HOME 函館開催のため来函された全国でご活躍中の先生方のお話を「今一度聞ける機会を」と地域の有志団体にて研修会を企画いたしました。この豪華な講師陣からACPについてのお話をリアルで聞ける貴重な機会になります。皆様お誘い合わせのうえ是非ご参加ください。

日時：令和5年6月11日（日）
13：30～16：30（予定）

場所：競輪場テレシアター



【内容】

前日のE-Field Homeに引き続き、ACPにまつわる内容にて開催いたします。病院の移行期からの在宅・施設場面での意思決定支援についてのお話になります。詳細は随時当センターHPにてお知らせいたします。E-Field Homeに参加できなかった方も是非ご参加ください！！

【対象】地域の医療・介護関係者

【定員】200名程度

【申し込み】函館市医療・介護連携支援センターのホームページを開き、研修情報「はこだて関係団体共催研修会」のページにあるGoogleフォームからお申し込みください。*定員を超えた時点で締め切ります。

【共催】

函館市医師会 在宅医療医会

函館歯科医師会

函館薬剤師会

道南地区老人福祉施設
協議会

道南訪問看護ステーション
連絡協議会

NPO法人ケアマネジャー
ネットワーク函館

道南在宅ケア研究会

函館市地域包括
支援センター連絡協議会

函館市・北斗市・七飯町

函館市医療・介護
連携支援センター

ほくと・ななえ医療・介護
連携支援センター



宇都宮 宏子
(宇都宮宏子オフィス)



加藤忠相
(あおいけあ)



川口 篤也
(道南勤医協函館稜北病院)



佐々木 淳
(医療法人社団 悠翔会)



古屋 聡
(山梨市立牧丘病院)



◎ 山岸 暁美
(慶應義塾大学医学部
コミュニティヘルス研究機構)

お申し込みは当センターHP研修情報「はこだて関係団体共催研修会」のページからGoogleフォームにてお願いします！！

当センターHP：<https://hakodate-ikr.jp/>

【問い合わせ】

函館市医療・介護連携支援センター（担当：佐藤）

電話：43-3939 E-mail：ikr-center@hakodate-ishikai-hp.jp

ホームページ上で掲載した研修情報一覧（令和5年4月～令和5年9月）

月	研修名称（団体名）	件数
4月		0件
5月	『膝・股関節 臨床の実際～保存療法から人工関節まで～』 R5年5月27日開催 （函館鍼灸マッサージ師連絡協議会主催）	2件
	『宇都宮宏子の部屋』 R5年6月12日開催 （訪問看護ステーションフレンズ主催）	
6月	第24回 道南摂食嚥下研究会 『食べる姿勢の基本をおさらいしよう！ ～実際に車いすやベッドを使って実習しましょう～』 （道南摂食嚥下研究会主催）	3件
	令和5年度 厚生労働省委託事業 人生の最終段階における医療・ケア体制整備事業 『本人の意向を尊重した意思決定のための研修会 在宅医療・施設ケア従事者版相談員研修会 ～生活の場、暮らしの場でのガイドラインの活用およびACP～』 （筑波大学主催）	
	『RIFCR™研修会』 R5年6月24日、25日開催 （函館市、北海道子どもの虐待防止協会道南支部、函館中央病院主催）	
7月	令和5年度 函館市小児慢性特定疾病児童等自立支援事業 第1回療育支援講演会『私らしく生きる～社会生活編～』 R5年7月29日開催 （函館市子ども未来部委託事業）	4件
	令和5年度道南在宅ケア研究会会員総会並びに第54回定例会 『地域包括支援センターの自立相談支援機関について知ろう』 R5年8月18日開催 （道南在宅ケア研究会主催）	
	令和5年度南渡島地域包括緩和ケアネットワーク会員総会並びに第17回定例会 『認知症高齢者の緩和ケア』 R5年8月30日開催 （南渡島地域包括緩和ケアネットワーク主催）	
	国立函館病院合同教育講座（在宅医療医会設立キックオフ タイアップ研修会） 『長崎在宅Drネット』 R5年8月25日開催 （国立病院機構函館病院主催）	
8月	第1回家族交流ネットワーク学習会 『家族がいまできること』 R5年9月9日開催 （北海道精神保健福祉士協会道南ブロック主催）	2件
	『在宅医療医会設立総会および第1回研修会』 R5年9月29日開催 （函館市医師会在宅医療医会主催）	
9月	日本死の臨床研究会北海道支部 『秋の研修会in函館』 R5年10月14日開催 （日本死の臨床研究会北海道支部主催）	1件
合 計		12件

（その他）

ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター主催 1件

函館市医療・介護連携支援センター主催 1件

各団体との共催 1件

函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ医療・介護連携支援センター共催 2件